

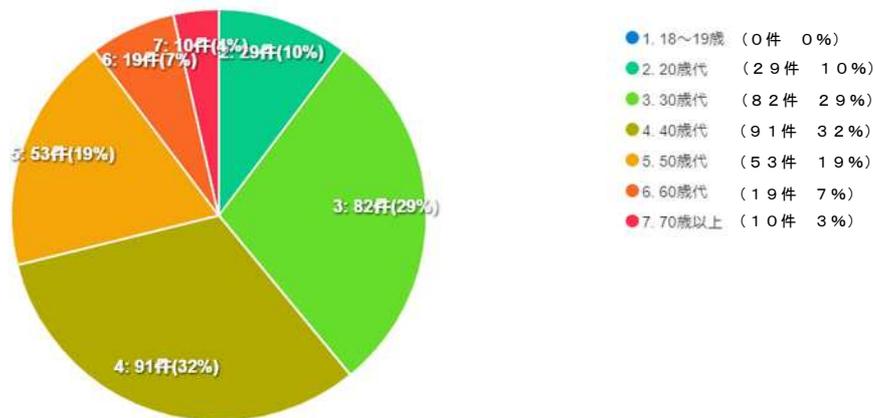
令和7年度第2回半田市eモニター調査

●生涯学習に関する調査結果（生涯学習課）

- ・目的 本市の生涯学習推進施策に関する現状の把握や今後の施策検討のため。
- ・実施期間 令和7年5月7日（水）～5月21日（水）
- ・回答数 284件（eモニター登録者数：300人）

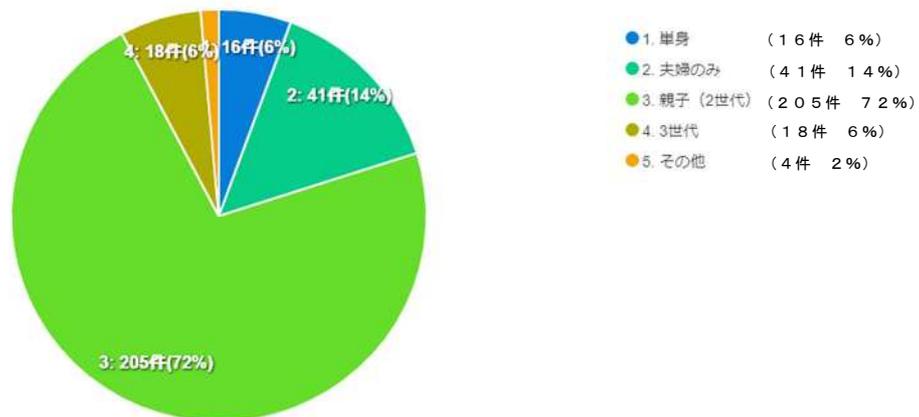
No.1 あなたの年齢を教えてください。

1. 18～19歳
2. 20歳代
3. 30歳代
4. 40歳代
5. 50歳代
6. 60歳代
7. 70歳以上



No.2 ご家族の構成について教えてください。

1. 単身
2. 夫婦のみ
3. 親子（2世代）
4. 3世代
5. その他



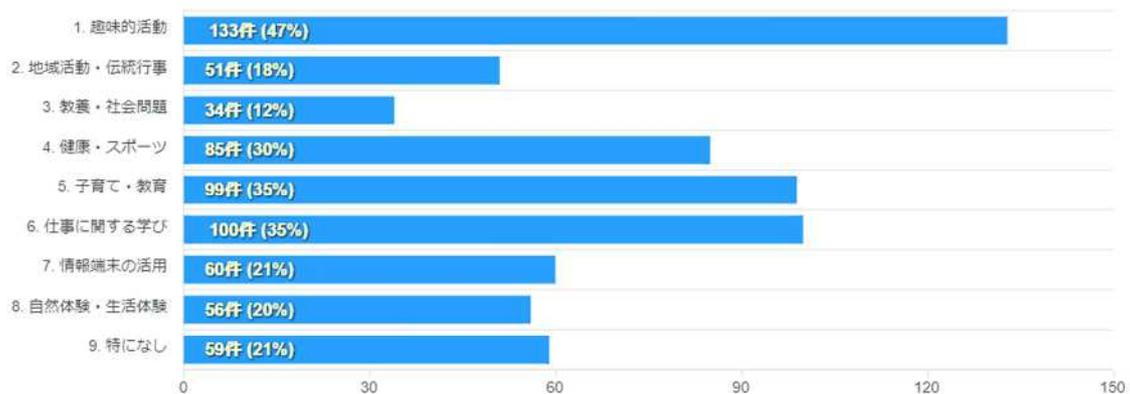
No. 3 生涯学習の必要性をどの程度感じていますか。

1. 強く感じる
2. どちらかと言えば感じる
3. あまり感じない
4. 全く感じない



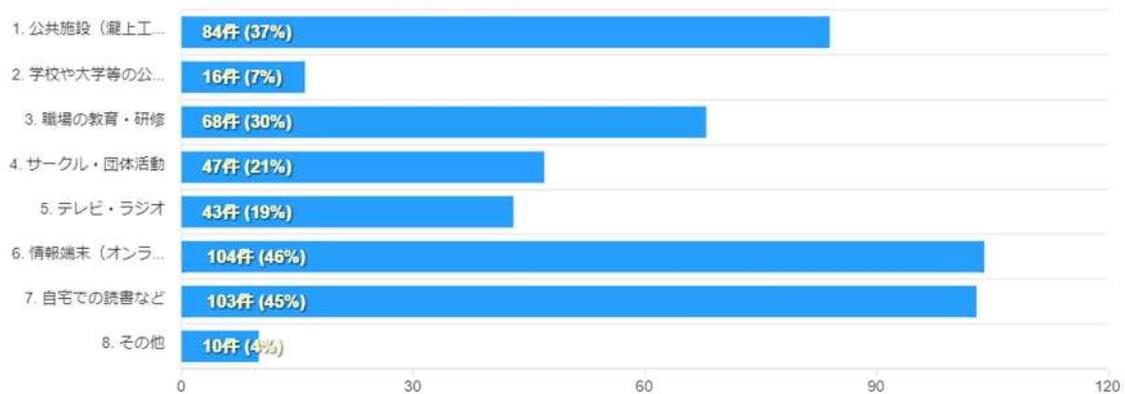
No. 4 この1年間で、次のような学習・活動を行いましたか。(複数選択可)

1. 趣味的活動
2. 地域活動・伝統行事
3. 教養・社会問題
4. 健康・スポーツ
5. 子育て・教育
6. 仕事に関する学び
7. 情報端末の活用
8. 自然体験・生活体験
9. 特になし



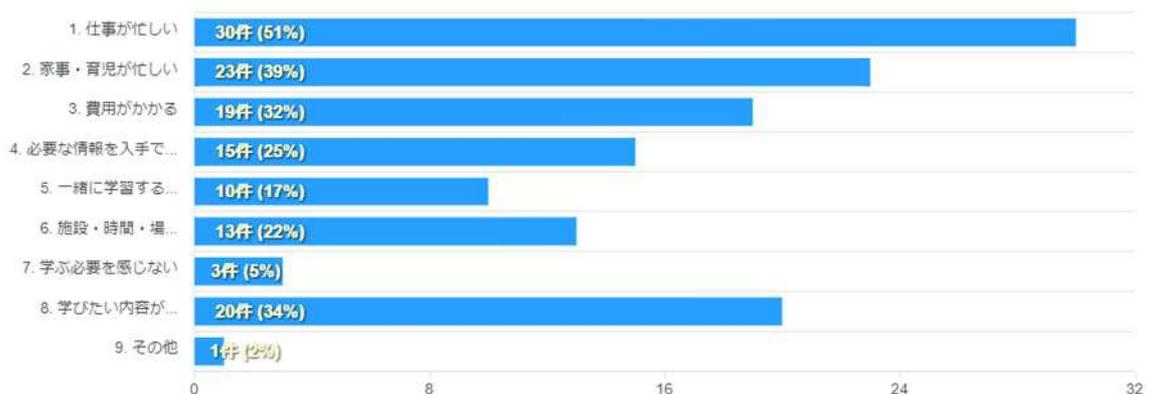
No. 5 どのような場所や方法で学習しましたか。(複数選択可)

1. 公共施設（瀧上工業雁宿ホール・公民館・図書館・科学館等）での学習
2. 学校や大学等の公開講座
3. 職場の教育・研修
4. サークル・団体活動
5. テレビ・ラジオ
6. 情報端末（オンライン講座・動画・AI等）
7. 自宅での読書など
8. その他



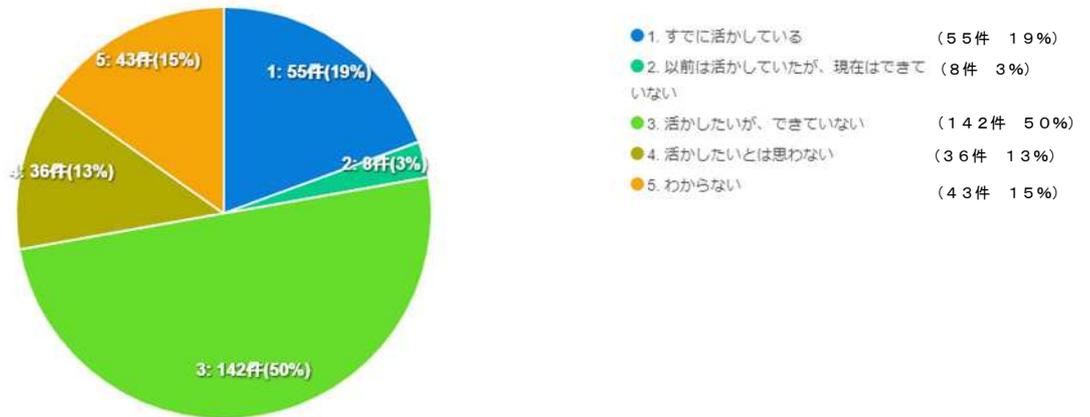
No. 6 学習や活動をしていない理由は何ですか。(複数選択可)

1. 仕事が忙しい
2. 家事・育児が忙しい
3. 費用がかかる
4. 必要な情報を入手できない
5. 一緒に学習する仲間がいない
6. 施設・時間・場所が合わない
7. 学ぶ必要を感じない
8. 学びたい内容が見つからない
9. その他



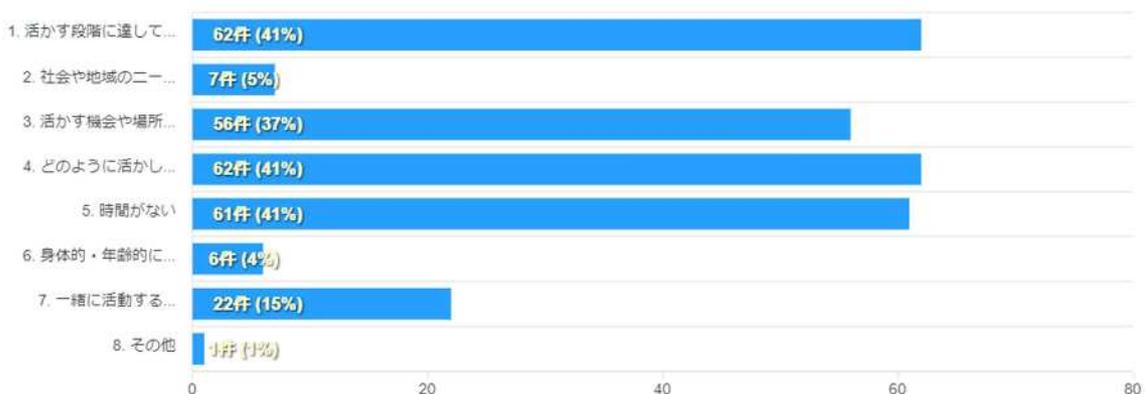
No. 7 学んだことを地域や社会に活かしたいと思いますか。

1. すでに活かしている
2. 以前は活かしていたが、現在はできていない
3. 活かしたいが、できていない
4. 活かしたいとは思わない
5. わからない



No. 8 (Q8で「以前は活かしていたが、現在はできていない」又は「活かしたいが、できていない」と答えた方) その理由は何ですか？(複数選択可)

1. 活かす段階に達していない
2. 社会や地域のニーズに合わない
3. 活かす機会や場所がない
4. どのように活かしてよいかわからない
5. 時間がない
6. 身体的・年齢的に難しい
7. 一緒に活動する仲間がない
8. その他



No. 9 「ゲストティーチャー制度」を知っていますか。

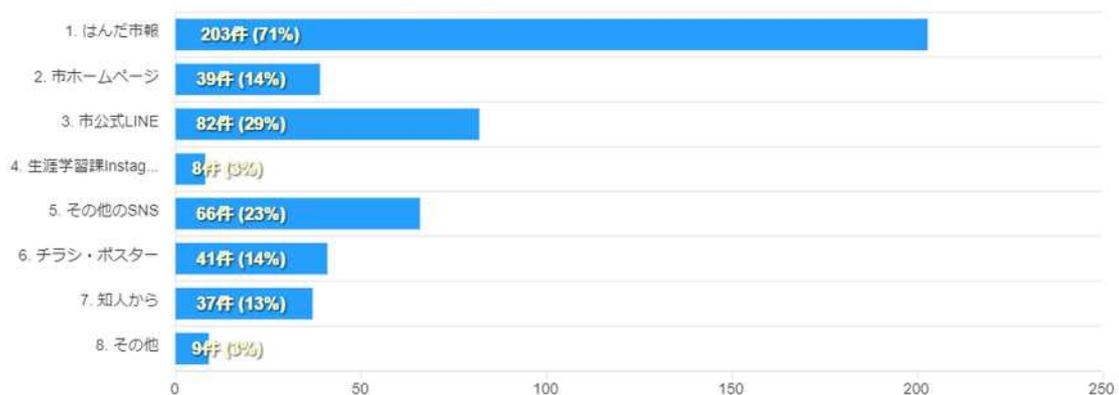
※「ゲストティーチャー制度」とは、様々な資格や特技を持つ市民がゲストティーチャーとして登録し、小中学校や公民館、団体等からの依頼に基づき、ボランティア講師として活躍する制度です。

1. 知っていて、登録している
2. 知ってはいるが、登録していない
3. 知っていて、利用したことがある
4. 知ってはいるが、利用したことがない
5. 聞いたことはあるが、よくわからない
6. 知らない



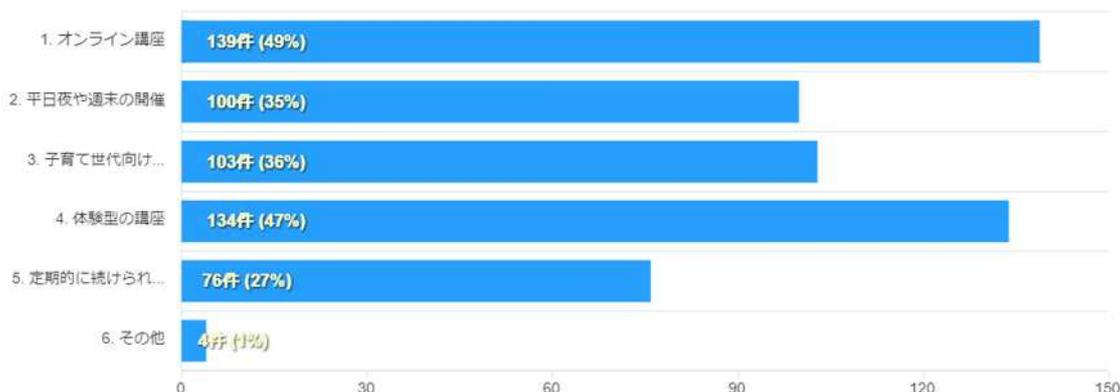
No. 10 生涯学習の情報はどうのように得ていますか。(複数選択可)

1. はんだ市報
2. 市ホームページ
3. 市公式LINE
4. 生涯学習課Instagram
5. その他のSNS
6. チラシ・ポスター
7. 知人から
8. その他



No. 1 1 今後、どのような形で学習機会があると参加しやすいと思いますか。
(複数選択可)

1. オンライン講座
2. 平日夜や週末の開催
3. 子育て世代向けの短時間講座
4. 体験型の講座
5. 定期的に続けられる講座
6. その他



No. 1 2 半田市の生涯学習をさらに充実させるために、力を入れてほしいことを選んでください。(3つまで選択可)

1. デジタルツールの活用支援
2. 高齢者向けの学習機会
3. 働く世代のリカレント教育（趣味・教養等を深める学び直し）
4. 働く世代のリスキリング（仕事に役立つスキルの学び直し）
5. 若者向けの講座や学習支援
6. 中高生向けの自習スペースの設置
7. 子育て世代の学びの場
8. 子どもの学校外での体験学習
9. 子ども・親・高齢者が一緒に参加できる講座
10. 地域の文化や歴史を学ぶ機会
11. 地元産業を学ぶ機会
12. 市内の大学や高校と連携した学びの場
13. 地元企業やNPOとの連携による実践型学習
14. SNSやインターネットでの情報発信
15. その他

